

令和6年12月21日(土)9:30~朝日さくら小学校 統合方向決定会(会議録要約)

於：朝日さくら小学校

参加者：主催側 PTA 及び保育園保護者 29 人、学校 2 人、市教委 3 人

PTA 会長 本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。定刻若干過ぎましたが、ただ今から『朝日さくら小学校_統合方向決定会』を開会いたします。

朝日地域3小学校の学校統合については、6/27~7/2、それぞれ学校ごとの検討会及び説明会を開催してきました。詳しい内容についてはこれから教育委員会で説明があります。教育委員会からも挨拶があるのでお願いします。

市教委 教育長は本日県高等学校説明会があり、そちらに出席するため、欠席になりますが申し訳ございません。

今日は学校も地域も含めて大事な会合であり出席いただいてありがとうございます。今日は1時間という短い時間ですがよろしくをお願いします。

PTA 会長 次第の2 これまでの経過及び説明について市教委からよろしくお願いします

市教委 これまで、このさくら小学校の統合の方向性を決めていただこうと、保護者アンケートや説明会を開催したが、なかなか出席人数が少なく決断には至らなかった。このたび開催方向について、PTA と相談して、保護者間の連絡なども SNS 等でも取りあって機運を高める方法として、PTA 主催とさせていただいた。また日程についても工夫し、これまでの平日の夜でなく休日の日中、時間も凝縮しては如何か。またアンケートを取ったばかりで意識が高いうちに実施したほうが良いということで、クリスマス前というタイミングであるが、本日、開催に至ったところです。

市教委 次に統合関係の説明に入ります。

資料3をお願いします。現在の朝日地域の現状は、全体として2段階で行くのか3校同時でなのかを、さくら小がまず判断する段階にあるということです。

資料、2段階の場合のメリットとして『きめ細やかな授業・先生の目が届きやすい』が大きく、これまで説明会で多く意見が交わされてきたが、こちらにもデメリットはあり、『先に友人関係ができてしまう懸念』・『先に新校名・体操着デザインが決まってしまう懸念』などがある。この『新校名が決まってしまうと…』がわかりにくいというご意見があったので、説明すると、表現が適切でないかもしれませんが、いわゆる対等と吸収では、吸収となる意味である。ほか、『人間関係が崩れると、関係改善が難しい』人数が少ない分影響が出やすい。『固定概念が強くなり、新しい考えが芽生えにくい』あの子は算数が得意、足が速いのでかなわないとか任せておけばよい感がでる、また中一ギャップなど。これらの懸念がある。また、令和12年ころにはこのさくら小学校でも複式学級が想定されるため、令和9年度頃からこのような検討に入ることを市教委が提案することになる。

3校同時期のメリットとしては、『3校が対等な関係でスタートできる、新校名・体操着などデザインが統一される』また、『友人、先生が増え多様な考えに触れられる、大勢の場所を苦手とする場合でも、人数の中には、同じ考えの友達がいる、居場所につながる。対するデメリットとしては、『統合時一時的に手狭になる、先生が目が届きにくい』これに関して、統合安定化加配により、人数が多いクラスは2クラス化が可能になる。この統合安定化加配についてですが、先日県教育委員会から連絡があり、配置期間についてはこれまでの統合前1年・統合後2年から統合前2年・統合後1年に変更との事でした。これによりさくら小学校にとっては、統合が決まっていれば統合年以前に複式学級となっても、単式での運営が可能になるということです。条例で決まっていなければならない事項なので、少し複雑ですが、こういった制度であることだけお含みをお願いします。

また、統合前校の先生を統合後の学校にバランスよく配置するよう県に要望することや、市単独の経費で介助員を65人・非常勤講師を20人配置して、運営の補助にあたっているということです。

ほか、『感染症対策が必要になる』、人数が多くなるので『移動等の際、混雑が生じ時間を要する』などになります。

これまでの説明会では、2段階としてもメリットが多くあがっていたかと思いますが、両方の議論をバランスよくしていただければと思います。

今日、欠席になる方々からは、63世帯の事前意向確認書を頂いている。議論の後の投票の後、事前分を加算して方向を決定していただく予定です。

PTA 会長 質疑に入ります。只今の説明について質問のある方をお願いします。

参加者 資料1、下に3校同時が一番大きくなっているが決まっているのか。今日の決め方も伺いたい。

市教委 大きく記載されているが意図はなく決まっていな。今回の結果によって決まる。質疑の後、両副会長に立会してもらい、今日の参加者で投票した後、事前分を加算し、多数票の方を方向としたい。

参加者 この人数で決められるのか。議員方の意向もある中、決めてよいのか。

市教委 PTA 総会規約を準用し、会の成立は委任所も含めた会員の1/2以上、決議は過半数と有る。さくら小と猿沢保育園保護者(両方に在籍のある家庭は1世帯として)を併せて98世帯。いわゆる委任状にあたる事前の意向確認書は63世帯、本日出席は29世帯であり、定足数の1/2は満たしている。今日は保護者としての方向となる。今後地域への説明となるが、保護者の考えが基本路線になると考えている。

参加者 今日はさくら小学校の方向の決定会という重要な会だと思うが、なぜこの場に教育

長が出席してないのか。事前にわかっているのであれば日をずらすとか方法があったのではないか。大変失礼だと思うが。

市教委 本日教育長は県高等学校の説明会と重なり、申し訳ございません。ただ教育委員には引き続き出席いただいている。これまでいろいろ議論はしていただいているところや、今日せつかく日程を下ろさせていただいたところでもあり、また、この先の検討もあり急いでいる話にはできないが申し訳ないがそのまま開催させていただいた。

参加者 資料、2段階のところ、校歌とか体操着とか決まってしまう懸念と有るが、先に統合しているところへ加わるとなれば、校歌とか体操着とかを合わせていくことになるのか。

市教委 簡単に言えば、新しくした方に合わせていく必要があると考えている。しかし、この決定は、次の段階の決定事項なので、仮に、小川小・みどり小側で、さくら小と一緒にになる時に新しくしましょうということになれば、この懸念はなくなる。

参加者 小川小・みどり小は統合することは決まったのか。

市教委 資料1のとおり、まだ、どの学校を使うかや学校名をどうしようかまでは進んでいない。スキームの8/27合同統合検討会を開催した時に、せつかくであればさくら小もいかがかという話となり、現在の状況にある。

参加者 前回、前々回と参加させていただいた。2段階となったとして、その時点で決めた学校がさくら小が統合になる際、そのままその学校を使用することになるのか。その時点でまた使用する校舎の検討をするのか。

市教委 資料、児童数の推移から、R12年までしか出でいないが、児童数は減少していきませんがR12・13時点でもまだ、小川小・さくら小ではキャパ的に難しい予想があり、一番部屋数の多いみどり小の可能性が強いと考えている。

仮に、旧三面小学校の児童が小川小となり、次にみどり小やさくら小となることも含めて検討しなければならない。

参加者 参加初めてであるが、施設が有利だとか経費面も含めて、朝日さくら小学校もぜひ検討していただきたい。

参加者 資料3、先の質問と重複するが、『新校名となった学校は閉校しない』とあるので、明確な回答が必要なのではないか。

市教委 対等か吸収かでいうと、吸収となるので、必然的に校舎も先に決まった学校に行く

ことになろうかと思う。但し、再度になるが、新校名やどちらの校舎を使うかどうかについては、次の段階での決定事項になるため、そこで決定された場合ということになる。複雑な話になっているがそういった状況である。

参加者 今の関連ですが、3校同時となれば、またその時点で検討していくということか。

市教委 3校同時となれば、R9.4時点で12クラス(通常8・特支4)できる予定である。これに対し施設については、みどり小が10部屋あり、小川小・さくら小が8部屋しかないため、施設はみどり小を想定している。

参加者 3校同時であれば施設はみどり小、2段階となれば吸収統合になるということか。

市教委 大体その認識でお願いします。

参加者 思いを語らせてください。

これまで参加してきて、どちらかという、大勢の人数の中に入るのは苦手という意見の方が多かったと思います。うちの子はどちらかという大人数でもおくすことなく生活するタイプで、統合しても順応してくれると思うが、やはり友達とトラブルになったときのことを考えると心配である。これまで15人位で過ごしてたところ、いきなり30人での生活は、先生の目が届くのか、トラブルの把握などがやはり気になる。

参加者 議事録があると聞いているが、あるのか。今日初めて知ったが、紙媒体では、仕事が忙しいため、アプリとかホームページで、過去のものも含めて見れないものか。

市教委 市のホームページでほかの統合の進捗状況も含め公開している。議事録もここで確認していただける。

参加者 統合を急がなくても良いのではないかとの意見があったと思うが、R13年度以降の統合については、決まっているのか。

市教委 R12年ころになるとこのさくら小学校にも複式学級が発生する見込みであるため、その複式学級を解消していこうというのが市教育委員会の当面の方向性であるため、これを目指して、R9年ころから検討を提案していく予定である。

参加者 仮に2段階になったとして、R9年ころからまたさくら小の統合について検討していこうという話になるのか。

市教委 その認識でお願いします。

参加者 皆様の参考になればということで、情報提供させていただく。児童生徒数推移でR12年度に7人・4人とかの人数想定になっている。うちの子は若干こだわりが強く、コミュニケーションが苦手であったりした。人数が少ないということは、関係が密になるが逆に密になったところに入りにくく苦勞を経験した。複式学級が想定されていて、それも良いのではないかという意見もあるが、この規模となると友達も少なく苦勞するのではないかと感じている。多い人数でいろんな考えで育つのが良いのではないかと考えていて、2段階で後からさくら小が加わるとなると、先に友人関係ができているところに入ってくような感じで結構大変なのかなと思っている。対等な統合について、小川小・みどり小もその所を気遣って、声掛けしてくれたのかなと感じている。参考になればということで発言させていただいた。

《PTA 会長発言により投票に移る》

市教委 投票結果を報告し、朝日さくら小学校関係保護者の方向としては、《2段階》とすることを諮ったところ、保護者が了承した。

以上

《投票集計》

- 1) 開催日時 令和6年12月21日(土)_9:30~10:45
- 2) 会場 朝日さくら小学校
- 3) 参集者 朝日さくら小学校 PTA 保護者・猿沢保育園保護者
28世帯(出席29名)及び意向確認書事前提出62世帯
合計90世帯(出席率91.8%・学校及び保育園対象世帯数98世帯)
- 4) 投票結果

選択	事前提出	当日	合計
《2段階》	33	16	49
《3校同時期》	26	10	36
反対・未記入	3	1	4
計	62	27	89

※PTA 会長は同数の場合のみ投票としたため当日投票なし